

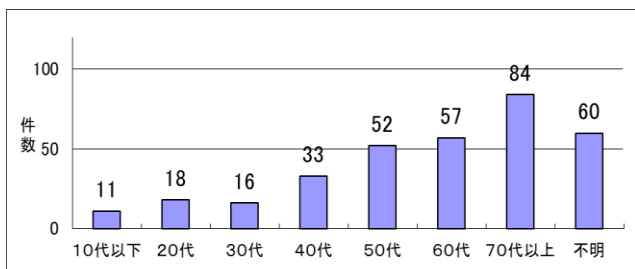
令和8年4月分の消費生活相談の概況

- 県消費生活センターで受けた4月の相談件数は、331件で(表1)のとおりです。前年同月(326件)と比べ、5件増加しました。
- 相談件数331件のうち、「不当請求」と判断される相談は10件で、前年同月(8件)と比べ、2件増加しました。
- 契約者の年代別相談件数は、(図1)のとおりです。70代以上が一番多く84件、以下60代が57件、50代が52件、40代が33件、20代が18件、30代以下が16件、10代が11件の順です。
- 相談の多かった商品・サービスは、(表2)のとおりです。第1位は「商品一般」で、以下「化粧品(全体)」、「役務その他サービス」、「健康食品、携帯電話サービス、インターネット接続回線」となっています。

〈表1〉

区分		総相談件数		販売購入形態別相談件数									危害・危険(再掲)		不当請求(再掲)	
		うち 苦情相談	店舗 購入	訪問 販売	通信 販売	マルチ・マ ルチまが い	電話勧 誘販売	ネガティ ブ・オブショ ン	訪問 購入	その他 無店舗	不明・ 無関係	危害	危険	うち架空 請求		
4月	件数	331	321	60	11	127	1	22	1	5	0	104	4	2	10	3
	構成比 (%)	100.0	97.0	18.1	3.3	38.5	0.3	6.6	0.3	1.5	0.0	31.4				
累計	件数	331	321	60	11	127	1	22	1	5	0	104	4	2	10	3
前年同月	件数	326	317	39	13	98	2	18	0	4	1	151	4	0	8	2

〈図1〉年代別相談件数



〈表2〉商品・サービス上位5品目

順位	商品名等	件数	主な内容
1	商品一般	44	特定できない商品(不審な電話や請求など)
2	化粧品(全体)	24	メイクアップ、基礎化粧品の販売など
3	役務その他サービス	13	質問サイトのサブスク契約など
4	健康食品、携帯電話サービス、インターネット接続回線	各10	サプリメントの販売、スマホの契約、モバイルWiFiの契約など

令和7年度 高齢者(65歳以上)の相談状況

1 相談受付件数の推移

相談全体の受付件数は、前年度に比べ+887件、28.9%増加しており、うち高齢者の相談件数は、前年度に比べ+335件、37.0%増加した。相談件数に対する**高齢者の割合は増加傾向**にある。

	R5年度	R6年度	R7年度	前年度比R7/R6
県センター全体(件)	3,463	3,065	3,952	+887(+28.9%)
うち65歳以上(件)	1,001	905	1,240	+335(+37.0%)
高齢者の割合	28.9%	29.5%	31.4%	

2 相談の多い商品・役務の品目

主に、**不審な電話や身に覚えのない請求**を含む「商品一般」の相談件数が前年度に比べ+63件、48.5%増加している。

また、主に、**インターネットでサプリメント等を購入しトラブル**になった「健康食品」で、高齢者の占める割合が59.5%と高くなっている。

順位 R7(R6)	商品名等	高齢者の 相談件数	R7-R6 件数	全体の 相談件数	高齢者が 占める割合
1(1)	商品一般	193	63	551	35.0%
2(3)	化粧品(全体)	101	37	237	42.6%
3(2)	健康食品	88	20	148	59.5%
4(4)	インターネット接続回線	49	10	114	43.0%
5(5)	役務その他サービス	43	5	117	36.8%

3 販売購入の形態別件数

販売購入の形態別件数では、**訪問販売、訪問購入**で高齢者の割合が高くなっている。

R7年度	合計	店舗購入	訪問販売	通信販売	マルチ	電話勧誘販売	ネガティブ・オブション	訪問購入	その他無店舗	不明・無関係
全体の相談件数	3,952	577	135	1,443	15	250	7	31	20	1,474
高齢者(件)	1,240	154	74	407	4	89	3	16	5	488
高齢者割合(%)	31.4	26.7	54.8	28.2	26.7	35.6	0.0	51.6	25.0	33.1



県消費生活センターに来所し相談したい場合は、あらかじめ電話(025-285-4196)でご予約ください。